

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成29年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/12

大般若会併修大施食会法要
※3月中旬 筆供養法要

- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29

本堂撥遣法要会及檀家総会
大施食会併蚕影山例祭法要
5/12~5/16 現代名僧墨蹟展
7/13~7/16

京浜地区檀信徒棚経
※7/31~8/1(一泊二日)
第36回子供禅の集い

- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 11/1~11/5 梅花授戒会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会

※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日

梅花講・華道教室
※宗務所執務日
毎週月・水・金曜日
※は、御本寺仁叟寺にて開催

本堂発遣（抜魂）供養法要



↑ 県宗務所長、ご本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師導師のもと、本堂発遣（抜魂）供養法要が勤められました



↑ 旧本堂最後となる大施食会法要



↑ 当山先々代住職の94歳になる仁叟寺東堂渡辺隆司老師と中学生になった長男渡辺哲道上座（撮影・富井様）

去る4月29日、当山恒例の大施食会及び蚕影山例祭法要が執り行われました。併せて、檀信徒総会と終了後の会食では、当寺竹林で採れた筍料理等を召し上がっていただきました。

また、同法要に先立ちまして本年は、本堂発遣（抜魂）供養法要を、前住職であり県宗務所長ご本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師ご導師の下、勤められました。

4月29日の法要が、当本堂での最後の行事となりました。多くの方が同法要に来て下さり報恩のお焼香をいただきました。

また、檀信徒は勿論、ご寺院様、梅花講員様、関係各位のご尽力があり、本年も無事圓成することが出来ました。有難うございました。

引き続き、本堂再建に向け、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

本堂引越し作業、ご協力有難うございました

4月29日の本堂発遣（魂抜）法要終了後、翌30日に吉井住設株式会社により水道工事が施工。5月2日には、株式会社放光及び住職により、本尊様始め諸仏像、仏具等の引越し作業がなされ、檀信徒会館にて仮本堂が組み立てられました。



↑ ↗ 檀信徒会館内仮本堂の様子
 空調完備・全椅子席となり、50名程の法要も勤めることが出来ますので、ご心配なきよう、お願いいたします。

また、連休中には文書及び地域檀信徒の皆様には総代さん、役員さん、本堂建設委員さんより既報の通り、地区毎に有志を募り、引越し作業を行わせていただきました。いずれも天候に恵まれ、多くの有志の方々が作業に当たっていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。以下、ご芳名を記し、作業に参加されました有志の皆様への感謝とさせていただきます。

(松田) 出牛裕一、白田博、白田隆一、白田幹男、出牛均、白田智志、渡辺一夫、渡辺和孝、志賀一夫

(多胡) 篠崎悦一、篠崎邦彦、小林信子、神部靖、田中道教、神部忠雄

(矢田) 木村照夫、木村幸男、木村孝、樋口裕、八木紳雄、八木みち江、八木和宏、中曾根美緒、飯塚成美ご夫妻

(多比良) 田端米治 (順不同、敬称略)

引越し作業、ご協力有難うございました。



出牛均様より、旧お蚕小屋を荷物の仮置場として快くご提供いただきました↑

県青年会55周年記念「現代名僧墨蹟展」圓成



テープカットにて開会式典→
 ↙ 宗務所長祝辞 ↓ 会場風景



群馬県曹洞宗青年会創立55周年を記念し、高崎シティギャラリーに於いて、「現代名僧墨蹟展」が5月12～16日に掛けて開催されました。地元の書道・華道・茶道関係各位の協力をいただき、会期中1,000名近い参観者が訪れました。

同展はチャリティ事業の一環で企画。収益は東日本大震災及び熊本地震被災地復興支援として県青年会より被災地へ寄贈されます。

本堂解体作業及び境内樹木伐採作業報告



上左) 引越作業後の本堂内部
 上中) 瓦を撤去した本堂
 上右) 解体作業風景
 下左) 解体作業終盤
 下中) 解体作業終了後の様子

解体作業 5月19日～27日
 伐採作業 6月9日～15日

地域檀信徒の皆様のご協力をいただきました5月連休中のおてんま引越し作業終了後、5月19日より本堂解体工事が始まりました。重機等が入る出入口は、竹林を切り開き、総会前4月中に完成しており、解体作業は順調に進みました。

施工は、建設委員会で諮り了解を得、藤岡市丸山建設工業株式会社に依頼。丁寧かつ迅速な作業のもと、5月27日に解体工事は終了いたしました。

解体工事終了後は、柿田緑化に依頼し、6月9日より同15日に掛け、境内地の樹木伐採作業を行いました。堂宇がないこの機会に、銀杏、桜、杉、檜11株を伐採。特に桜は、故白田実翁が40年前に同地に植樹をされた綺麗な花を咲かせるソメイヨシノでした。伐採前に住職、故実翁御子息幹男様、出牛総代長、作業に当たる柿田緑化柿田様、加藤様と共に供養を勤めました。墓地脇には幹が弱っていた樹もあり、早期に対応が出来、良かったものと思っております。また伐採した材木が当山に残っており、必要な方がおられれば差し上げますので、当寺迄一報下さい。柿田緑化の職人業は勿論、加藤様、出牛様、渡辺様近隣の方々にもお世話になりました。

6月24日土曜日大安午前中には、地鎮式法要及び総代役員会、本堂建設委員会が行われる予定です。現在、本堂はない状態ですが、檀信徒会館に移動した仮本堂にて、先祖供養法要等は勤めることが出来ます。引き続き、檀信徒始め関係各位のご理解ご協力をお願いいたします。



← 左) 伐採作業風景
 中) 伐採前に報恩供養
 右) 伐採後の境内

当山28世仁叟寺30世寺族 故渡辺テル一周忌法要



↑ 導師を勤めるご本寺雙林寺住職石附老師
焼香を行う仁叟寺住職及び東堂

早いもので、一年経ちました。去る6月4日、仁叟寺本堂にて、仁叟寺ご本寺の渋川市雙林寺住職石附正賢老師ご導師のもと、当山二十八世仁叟寺三十世寺族・故渡辺テル（隆室常照禅尼位、号・晃苑）の一周忌法要が、ご寺院様、親族始め檀家総代様、書道会の皆様等ご縁のある皆様方のご列席いただき、勤められました。

故人は、当山二十五世仁叟寺再中興二十九世渡辺石橋老師の末娘として大正時代に生誕。永年住職を支え、当山及び仁叟寺護持に尽力されました。また高崎書道会で理事として活躍。仁叟寺にて書道教室「雅道

会」を主宰し、50年近くに亘り書道を通じた教育活動に尽瘁されました。

昨年の通夜葬儀から始まり、大練忌四十九日納骨、新盆、初彼岸会、百箇日と続き本年一周忌も無事修行出来ました。また、東堂も94歳となりますが、元気に晴耕雨読の生活をしております。檀信徒始め多くの縁ある皆様方にお参りお焼香賜り、志を頂戴いたしましたこと、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。合掌

授戒会、檀信徒研修旅行（台湾）参加者募集中

県宗務所梅花部60周年及び県青年会創立55周年を記念し、県宗務所主催で桐生市大雄院様に於いて「授戒会」が修行されます。当県では5年前に県青年会創立50周年を記念し、大本山總持寺貴首江川辰三禅師を戒師にお迎えし、仁叟寺様にて開催された以来の大法要です。今回は県宗務所長である仁叟寺住職を戒師に、11月1～5日に掛けて行われます。

また恒例の県宗務所檀信徒研修旅行では、今秋11月頃に曹洞宗と縁がある台湾へ、初の海外研修となります寺院参拝研修旅行を予定しております。いずれも参加をご希望される方は、当山迄お問い合わせ下さい。

→ 授戒会ポスター ↓



行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

龍源寺開闢以来の大事業となります本堂再建。4月29日に旧本堂最後の法要となる恒例の大施食会、蚕影山法要、檀信徒総会に併せ、発遣法要が先代であり県宗務所長のご本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師ご導師の下、修行出来ました。その後、引越し、解体、樹木伐採と続き、愈々6月24日の地鎮式法要から建築に向けた作業が進んで参ります。

上棟式法要、また再来年に予定しております

す落慶法要には、是非とも多くの檀信徒始め関係各位のご臨席を賜ればと思っております。

大事業であり、経済的な不安もまだまだ払拭出来ない状態ではあります。しかしながら、「念ずれば花開く」今ここをしっかりと精進し、建設委員会を中心に皆様と共に歩んで参りたく思っております。合掌（龍）

